

科目名 (科目番号)	地域連携論 (064271)	教員名 小林聖美	学科等	理学療法	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		水・6	A316研究室(小林)	
授業概要	地域リハビリテーションを行うにあたり、係わることが不可欠な多職種について学ぶ。多職種の専門性や具体的な業務内容を理解し、その上で患者様により良いサービスを提供する為に、どの様に職種間連携を図ることが望ましいのか考察を深める。患者様の生活を知り、その患者様を取り巻く多職種がどのようなアプローチを行うかを学び、自らが関わる場合にはどのようにアプローチを行うのか考える。						
準備学習	筋萎縮性側索硬化症について事前学習を行って参加すること。						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	地域における連携	学習内容:在宅へ戻るまでにどのような連携が必要か学習する。 到達目標:多職種連携の必要性について、自らの考えを述べる事が出来る。				
	2	疾患概要(ALS)	学習内容:筋萎縮性側索硬化症の概要について学習する。 到達目標:筋萎縮性側索硬化症の疾患概要と障害について理解する。				
	3	対象者の理解	学習内容:筋萎縮性側索硬化症患者の生活について学習する。 到達目標:生活改善のために必要な多職種での支援について考えることができる。				
	4	職種の理解 (介護支援専門員・理学療法士)	学習内容:介護支援専門員・理学療法士の業務について学習する。 到達目標:介護支援専門員・理学療法士の役割について考えることができる。				
	5	職種の理解 (社会福祉士・看護師・保健師)	学習内容:社会福祉士・看護師・保健師の業務について学習する。 到達目標:社会福祉士・看護師・保健師の役割について考えることができる。 (社会福祉学科・看護学科教員)				
	6	職種の理解 (介護福祉士・作業療法士 言語聴覚士)	学習内容:介護福祉士・作業療法士・言語聴覚士の業務について学習する。 到達目標:介護福祉士・作業療法士・言語聴覚士の役割について考えることができる。 (社会福祉学科教員・外部講師)				
	7	対象者の理解 (対象者・家族)	学習内容:対象者・家族の医療者に対して望むことについて学習する。 到達目標:対象者・家族の望む生活実現のために多職種ができることを考えることができる。 (外部講師)				
	8	プレゼンテーション	学習内容:前回授業までに内容を踏まえてプレゼンテーションを行う。 到達目標:対象者・家族の望む生活実現のための多職種の役割について考えを述べる事が出来る。				
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
成績評価の方法・基準	レポート(20%) + グループワークで作成したワークシート(20%) + 発表(60%)						
教科書							
参考図書							
教員からのメッセージ	各講義でディスカッションを行うことがあります。講師の都合により、内容に変更がある場合があります。						